

GOAL! 2

2007(平成19)年4月26日鑑賞(東宝東和試写室)

★★★★



監督＝ジャウム・コレット＝セラ／出演＝クノ・ベッカー／スティーヴン・ディレイン／アンナ・フリエル／レオノア・ヴァレラ／ルトガー・ハウアー／アレックスandro・ニヴォラ／エリザベス・ペーニャ／ニック・キャノン／カルメロ・ゴメス／デヴィッド・ベッカム／ロナウド／ジネディーヌ・ジダン（東芝エンタテインメント配給／2007年イギリス、スペイン、ドイツ合作映画／114分）

……サクセスストーリー満載の第1作に続く『GOAL! 2』は、イギリスのニューカッスル・ユナイテッドからスペインのレアル・マドリードへの移籍話からスタート。そして、焦点は「スーパーサブ」としての大活躍から、いつスタメンに……？ しかし、世の中すべてがそう簡単にうまくいくものではない。恋人との距離の広がり、足のケガ、マスコミからの白い目、生き別れた母親と弟のカゲ……。サンティアゴは数々の試練にさらされていくが、さて彼はいかに……？ クライマックスは当然決勝戦だが、その舞台にサンティアゴはどんな姿で登場し、どんな活躍を見せてくれるのだろうか……？そしてさらに、『GOAL! 2』に続く第3作の予感とは……？

物語の発端は、サンティアゴ・ムネスの移籍話から……

『GOAL!』(05年)第1作は、イングランド・プレミア・リーグのニューカッスル・ユナイテッドの選手として、主人公のサンティアゴ・ムネス(クノ・ベッカー)が見事なフリーキックによって決勝点を奪うというクライマックスの中で終了した。サッカーチームは地域に根ざしたものだから、今やサンティアゴはニューカッスルの人気者。

今年のプロ野球ストーブリーグ最大のニュースは、ポスティング・システムによる西武ライオンズの松坂大輔選手のアメリカ大リーグ、レッドソックスへの移籍で、何とその金額は1億ドル(120億円)という途方もないものだった。そん

な興奮さめやらぬ中 (?), サンティアゴにスペインの強豪チーム、レアル・マドリードへの移籍話が飛び込んできた。そのニュースを伝えたのは、第1作でも大活躍していたサンティアゴのエージェントである、グレン・フォイ (スティーヴン・ディレイン)。その交渉の地は東京。そして移籍の最終期限は明日。さて、ここでサンティアゴはどんな決断を……? そして野次馬根性ながら、もし移籍した場合、サンティアゴの移籍金額は How much ?

先輩は先に決断したが……

レアル・マドリードがサンティアゴの移籍を狙ったのは、FWのマイケル・オーウェンをニューカッスルへ放出したためだが、既に一足早くニューカッスルからはガバン・ハリス (アレックスandro・ニヴォラ) を獲得していた。そのうえレアル・マドリードには、ベッカム、ロナウド、ジダンなどサッカーをあまり知らない私でもよく知っているビッグネームのスター選手がズラリ……。そしてガバンもサンティアゴの先輩のスター選手として、サンティアゴより一足先にレアル・マドリードへの移籍を決断していた。そこでサンティアゴが悩んだことは……?

昨年の夏の甲子園における早稲田実業の斎藤佑樹 vs. 駒大苫小牧の田中将大の決勝戦は今なお印象に残っているが、そのマー君こと田中将大が入団したのは、パリーグ断トツの最弱小チームである楽天イーグルス。しかし、そうだからこそ (?) 彼は1年目から1軍のマウンドに立つことになったもの。仮に彼が巨人に入っていたら、きっと2、3年は2軍で鍛えてから、ということになっていたはず……。したがって、レアル・マドリードへの移籍話を受けたサンティアゴが悩むのは、お金の問題ではなく、選手としてピッチに立つことができるかどうかということ。つまり万年控え選手としてベンチを温めるのではかなわない、ということだ。さて、そんな彼の決断は……?

代打の切り札からスタメンへ……

かつての阪神タイガースには川藤幸三、真弓明信、八木裕などたくさんの「代打の切り札」がいたが、今年の阪神タイガースのそれは林威助。もっとも同じ

「代打の切り札」でも真弓や八木はベテランになり、守備力や走力が衰えてきたため、代打としての一振りに執念を燃やすパターンだった。しかし林威助の場合は、近い将来の大スターを目指し、濱中治とのスタメン競争を視野に入れながら、当面「代打の切り札」として使っているというパターン。

レアル・マドリードに入ったサンティアゴは、いわば林威助型の「代打の切り札」……。すなわちスタメンに疲れが出てきた後半の勝負どころでサンティアゴを投入し、ゴールへの執念を見せてもらおうというのがルティ・ファン・デル・メルベ監督（ルドガー・ハウアー）が立てた戦略……？

先に移籍を決めスタメンとして出場しているガバン・ハリスの調子が上がらない中、サンティアゴは「スーパーサブ」として数々の殊勲を上げてきた。したがって阪神タイガースの岡田監督が濱中治と林威助のどちらをスタメンに使うか迷っているように、ルティ・ファン・デル・メルベ監督もきっと迷ったはず……。もっとも、その決断をするについては、技術力だけでなくチームにおける和を考へることも大切。「チームと息もあってきたし、スタメンで使ってほしい」とアピールするサンティアゴに対して、「その時が来たら知らせる」と答えたルティ・ファン・デル・メルベ監督の深慮遠謀は……？

こんな婚約者は、ちょっとつらい……？

イギリス女性は頑固……？ この映画におけるサンティアゴの恋人ロズ・ハーミソン（アンナ・フリエル）を観ていると、つくづくそう思ってしまう。

ロズの仕事は看護師。現在、ロズは結婚式に向けての準備に余念がないが、そんな時突如起きたのがサンティアゴのレアル・マドリードへの移籍話。サンティアゴにとってはこのうえない話だから、サンティアゴがそれを前向きに検討したのは当然。ところが、ロズは……？

ロンドン生まれのロズ、そして現在看護師として働いているロズにとっては、「この街を離れたくない」と思うのは当然だが、そんな場合、ロズは何を優先すべき……？ さらに、スペインに渡り、活躍を続けているサンティアゴを訪れたロズがロンドンに戻る時、サンティアゴに対して「あなたも一緒にロンドンに帰って……」とは、ちょっとわがまますぎ……？

だって、サンティアゴはレアル・マドリードチームの支配下にあり、監督の命令は絶対なのだから……。これではまるで、西武ライオンズからアメリカ大リーグのレッドソックスに移籍した松坂大輔の妻、柴田倫世が、「私は日本を離れたくない」とダダをこねているようなもの……。もちろん、こんな私の見方については、反論も多いだろうが……？

カネの使い途で、お里が知れる……？

プロ野球やサッカーなどの高給取りスポーツ選手は旬の時代は短いうえ、所詮所得は1年毎の計算だから、その所得に対する税金もバカ高……。他方、彼らが経費として使えるものは知れているから、高給取りになった彼らが第1に買うのは車。どうせ税金でとられるのなら、せめて「通勤の足」として経費処理の可能な車に、目いっぱいカネをかけようと思うのは当然。そして、次は大邸宅だが、これはもちろん経費となるものではない。経費になるのは、ぜいぜい水光熱費や保険料程度……。

しかし、高給取りになったからといって、急に高級車を乗り回したり豪邸を建てたりすると目立つのは当然。そして、成金的に映るから、あまり見栄えのいいものではない……。この映画における、サンティアゴを見ていると、負け惜しみではなくまさにそう思ってしまう。ガバンと競争するかのようになり、あるいはロズに対する愛情をカネの多寡で示すかのようになり、バカでかい豪邸を買ったり、さらにはランボルギーニというスーパースポーツカーを購入した日、うれしそうにケイタイでロズに電話しているサンティアゴの姿を見ていると、日本流に言うと、「お里が知れる」というもの……。もう少し計画的で、地に足をつけたおカネの使途は思いつかないの……？

いいことばかりでは……？

レアル・マドリードへ移籍したばかりのサンティアゴは、今「スーパーサブ」としてその存在感を見せつけており、いつスタメンとして起用されるかが焦点となっている。まさに、現在の阪神タイガースにおける林威助の立場だ。

しかし、人生いいことばかりが続かないのは当然。もっとも、伸び盛りの時は

いいことずくめで、悪い芽が引っ込んでしまうことはよくあるが、逆にそんな人ほど、悪い芽が出はじめるとそれが続くもの……。しかして、サンティアゴの場合は……？

やっとめぐってきた初先発の試合で、サンティアゴは試合開始早々、ラフプレーだとしてレッドカードを突きつけられることに。これが第1のケチのつきはじめ。第2は、若い男には誰にでもある女絡み。すなわち、サンティアゴに対して熱い視線を向けるテレビ局の美人キャスター、ジョルダナ・ガルシア（レオノア・ヴァレラ）と一緒に飲んでいたやけ酒のおかげで、何と翌日の試合に遅刻するという大失態を……。そして、挙げ句の果てに、ガバンとの練習の途中、不注意で足を骨折するという不始末まで……。こんな新人はまるっきりダメ、監督がそう思ったのは当然だし、多くのファンも心が離れていったのは当然……。そして不思議なもので、サンティアゴがそんな状態になると、逆にガバンは調子を取り戻し、次々とゴールを決めていくというめぐり合わせに……？

サッカー色7割、家族愛3割……？

現在公開されている『ロッキー・ザ・ファイナル』（06年）で、『ロッキー』シリーズは30年間の歴史を終えたが、『GOAL!』（05年）は、最初の『ロッキー』（76年）と通じるサクセスストーリーの色が6割で、その余の2割が家族愛、そして2割がサッカー色……。ところが、『GOAL! 2』は、サッカー色7割、家族愛3割と、サッカー色が濃くなっている。これには監督がダニー・キャノンからジャウム・コレット＝セラに代わったことによる視点の違いが大きいだろうが、その賛否は人それぞれ……。

第1作では、サンティアゴは祖母メルセデス（ミリアム・コロン）の援助によって、1人アメリカのロサンゼルスからイギリスのニューカッスルに渡ることができたが、彼の家族の姿は若干あいまいだった。すなわち、黙々と働くことしか念頭にない父親との確執は描かれていたが、さて母親は……？ 私は『GOAL!』が3部作としてシリーズ化されると聞き、「すると、第2作では、サンティアゴはチームの中心に座るスター選手として活躍しながら恋愛模様を順調に展開させ、子宝にも恵まれるものの、ケガをしたため突如どん底にというストーリー

……？」と書いた（『シネマルーム11』283頁参照）。しかし、この前半3分の1と後半3分の1は当たったが、真ん中の3分の1は不的中……？

『GOAL! 2』の3割を占める家族愛とは、マドリードの下町の大衆酒場で働きながらテレビでサンティアゴの活躍を見守っている母親のロサ（エリザベス・ペーニャ）と、サンティアゴの弟になる男の子エンリケの登場。そりゃ誰だって、急に車の前に飛び出してきた少年から「僕は弟だ」と告げられると、ビックリするのは当然。そこで、サンティアゴが今もロサンゼルスで暮している祖母に電話で聞くと、母親は「家族を捨てて家出した、ひどい母親だった」らしいが……？『GOAL! 2』は、サンティアゴによるそんな母親捜しのストーリーにもかなりのウエイトが……。

パパラッチとの対立は……？

1997年のダイアナ妃の交通事故死を契機として、一躍世間はその名をとどろかせたのが「パパラッチ」……。そのパパラッチをテーマとして描いた面白い映画が『パパラッチ』（04年）だった（『シネマルーム10』326頁参照）。

つい先日、リチャード・ギアが公衆の面前でインドの女優シルバ・シェティにキスをしたことで逮捕状が出されたという面白い(?) ニュースが流れたが、メル・ギブソンも飲酒運転で逮捕されたり、「世界中の戦争の原因はユダヤ人にある」と語ったり、いろいろとお騒がせ男……？ そんなメル・ギブソンだから、パパラッチに対しては人一倍憎悪と憎しみの感情が強いため、それが映画『パパラッチ』をプロデュースする原動力になったのかも……？

一躍有名になったサンティアゴがマスコミの対応に戸惑ったのは当然だし、パパラッチへの対応能力に欠けていたのも当然。他方パパラッチにとっては、ターゲットとなる人物のトラブルは何でも大歓迎だから、サンティアゴの弟エンリケがサンティアゴの車ランボルギーニに乗り込み、これをタクシーで追うサンティアゴとの間で展開された追跡劇は絶好の素材。そして、ランボルギーニが何かに激突し、エンリケがケガでもすればさらに好都合……？ 事態はパパラッチが願っていると通りのそんな展開となったが、さらにマズかったのは、そんなパパラッチに対してサンティアゴが手を出したこと。いくらパパラッチ相手でも暴行を

加えればやった方が悪いに決まっているから、翌日の新聞には、待ってましたとばかりにデカデカと記事が……。普通ここまでくれば、並みの新人では立ち直ることはほぼ不可能……。？

クライマックスはやっぱり……

サッカー色7割の『GOAL! 2』のスクリーン上には、前作以上にベッカム、ロナウド、ジダンなどの現役大スターが登場するし、サッカーの試合シーンも多い。しかして、『GOAL! 2』最後のクライマックスは……？

それは当然、UEFA（ヨーロッパサッカー連盟）が主催するチャンピオンズ・リーグの最終決勝戦。「ヨーロッパNo.1クラブ」の称号を手に入れるのはどのチームかをめぐって闘われる最終戦の先発はジダンで、サンティアゴは控えとして待機中。そして、前半1点ビハインドのまま後半に入り、さらに決定的な1点を入れられてしまったが……。

さあ、ここでいよいよサンティアゴの投入だ。残り時間が迫ってくる中、レアル・マドリードの逆転勝利と優勝はあるのだろうか……。？ またそれに向けて、一体誰がどんなスーパープレイを……。？ それは、会場に詰めかけたファンの声援と共に、あなた自身の目でしっかりと……。

2007(平成19)年4月28日記